

相模湾沿岸地域の魅力を高める構想づくりワークショップ

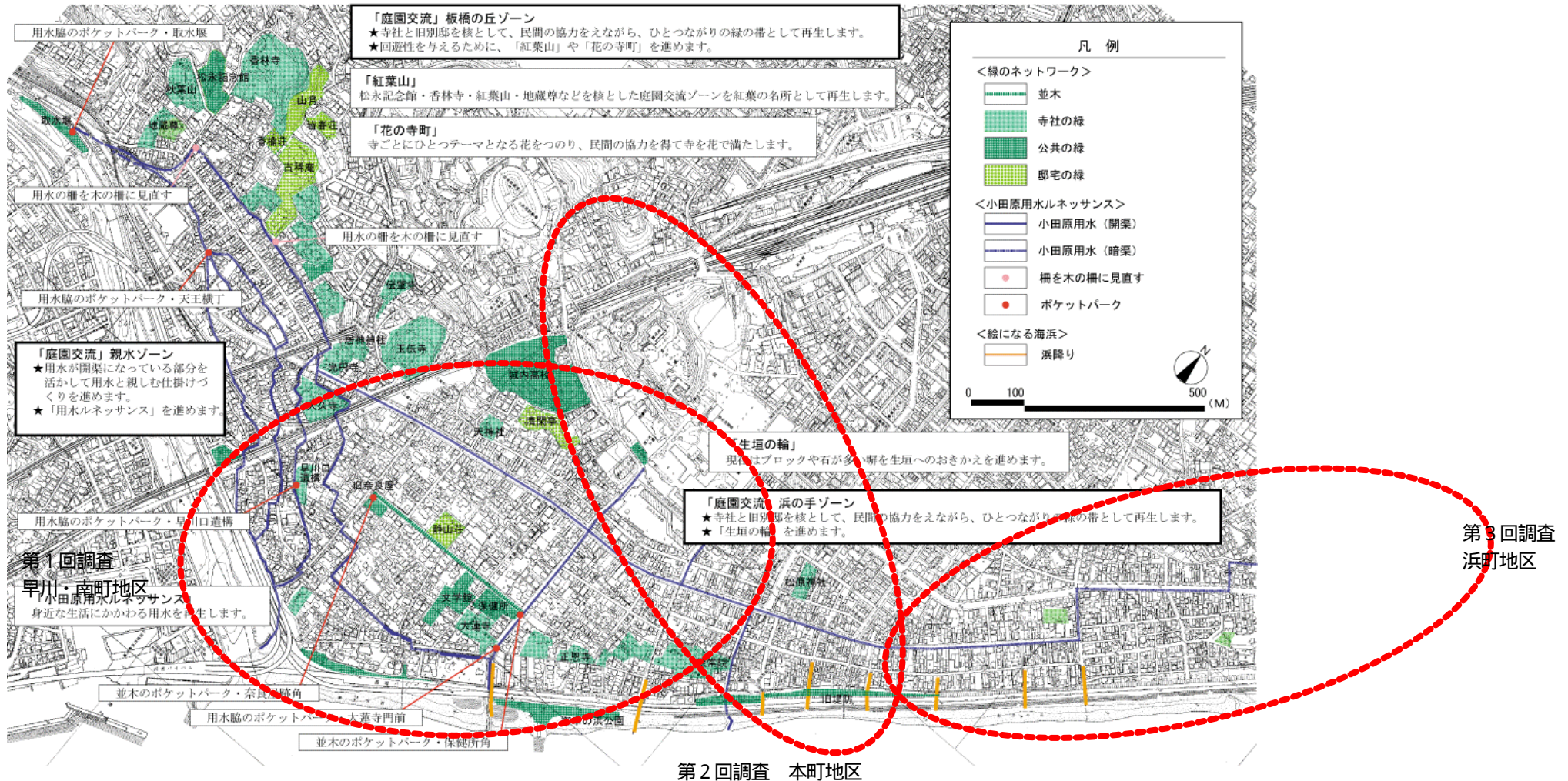
～小田原旧東海道・庭園交流プロジェクト 小田原の原風景～まちの中の緑と水辺を探検しよう

中間報告 2005年11月7日 (第2回相模湾沿岸地域保全等構想策定懇談会)

庭園交流プロジェクトとは(小田原スタディ1(2001年:小田原市政総合研究所)より)

まちのなかには自然の営みが息づいています。ふだんは気づかず、忘れてい  
るだけかも知れません。子どもの頃はもっと身近な遊びの場、何より暮らし  
の場だったのではないのでしょうか?

そうしたまちに隠れた自然を探し出して、より心地よい暮らしの手がかりに  
したい.....庭園プロジェクトはそんなふうにして始まります。








庭園プロジェクトの進め方

1. 隠れた自然の魅力を、目と耳で五感で再発見する  
個人所有の庭から、町全体を庭園だと実感できる手がかりを探す  
(例) 寺社や公共の緑地/水路/海辺/ランドマークの樹木など



3. 3につながる資源マップのフォーマットを示す 今回のWSの目標  
個別の事業が位置づいている全体像をつねに確かめられる  
マップをつねに更新できるようにして、認知や合意が進められる
3. 法やルールなど、ソフトなしかけで持続的な再生を図る

第1回調査(2005年11月3日 小田原市早川・南町地区)での具体例

視点	1. 発見した魅力・問題	2. 既存の資源	3. 施策のアイデア
水路	<p>暗渠や護岸にってしまうといつの間にか無秩序な使い方に</p>  <p>開渠になっていると、とても快適な散歩道。魚の姿もちらほらと。</p>	 <p>水路の流れる路地裏には、今も小田原漆器や寄木細工の町工場が。アク抜きに水を使うってことにはじめて気づく。</p>	<p>同じ路地裏には粋な迷路のペインティング</p>  <p>町工場の木を使って路地から路地へのサインにしてゆけば、もっといい</p>
水路 水脈	<p>所々に使われていない井戸が目につく</p>		<p>防災用のためにも再生できないか？</p>
海辺 + 垣根	<p>かつて地引網をしたり、船を引き揚げたりしていた浜辺は、玉石だらけの海辺に。。</p> <p>コンクリートの橋脚や擁壁があって、訪れる人影もあまりない</p> 	 <p>一步路地に入ると、年季の入った玉石の石垣が。垣根や防波堤にさかんに使われていたという。</p>	<p>玉石を実験的に使えないか？</p> <p>現状は玉石採取が禁止されているし、垣根や防波堤は次々とコンクリート製に置き換えられている。「特区制度」などを使えないか？</p>

<p>海辺（港）</p>	<p>駅と街と海がこんなに近いところはない！ 海を感じる風がいつも吹いている</p> <p>。。。でも海がどこからも見えない</p>	<p>港のなかには、 高速道路より 高層の建物が いくつか（冷蔵 倉庫や水産試 験場、工場な ど）。。</p> 	<p>高層建物の上層部を、カフェなどとして開放できないか？</p> <p>ちなみに、「相模湾の各拠点を結ぶ航路を再生できないか」という壮大な提案も！</p>
<p>まちしるべ （landmark）</p>	<p>天守閣・稜線・松林、並木道（熱海街道の柳、西海子小路の桜）が小田原らしさのシンボル</p> <p>街路のところどころから、天守閣や松林が見通せる</p>   <p>さらに見通せるだけでなく、松林はとくに音と薫 = “松籟” が町全体にとって古き佳き思い出だった</p>	<p>見通しをさえぎるような電線や建物が少ない</p>   <p>耳を澄ませば、今でも松籟が聞こえてくる隠れ処的庭園がいくつか（小田原文学館など）</p>	<p>ポイントとなる路上や壁面、オープンスペースなどに、落ち着いたデザインでサインしてはどうか？</p> <p>松籟の思い出を語ってくれる「まち語り」も歩きながら聞いてみたい</p> <p>建物高さや開発規制、電線類の整理などに、「見通し」も要素として取り込めないか</p> <p>ボランティアベースでも林の再生はできないか？</p> 

参考資料：第1回調査で示した「探検のヒント」



#### 探検のヒント1 水路

小田原のまちには、500年近い歴史をもつ、水路が今もところどころに姿を見せています。  
いま、どれだけ表に出ているでしょう？ どこからどこへ流れてゆくのでしょうか？  
どんな彩をしたら心地よいでしょう？ 交通や安全とどう折り合いをつけたらいいでしょう？



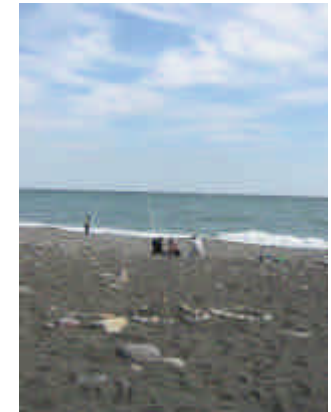
#### 探検のヒント4 垣根 とくにガア竹

ガア竹というのをご存知ですか？ プリ漁がさかんだった昭和30年代まで、浮きがわりに使われていた孟宗竹のことを地元ではそう呼んでます。ガア竹は塩水のおかげで、長い間腐ることがありません。“永遠に輝く竹”の垣根探してみてください

#### 探検のヒント2 海辺

“こゆるぎの浜”、といわれた礫まじりの海辺も、  
まだまだ健在です。  
バイパスができたり、ブリがとれなくなったり

一変した風景でも気持ちよく遊べるヒントを  
ぜひそれぞれに見つけてください



#### 探検のヒント3 まちしるべ LANDMARK 空の写真じゃありません(笑)

まちのそこかしこからは御城が望めるんです  
ここが小田原の町だって思い出させてくれる目印  
たくさんの人が共有できる、背の高いものは  
他にもありませんか？

